

平成 28 年度「留学生が先生！」教育プログラム事業報告

(自平成 28 年 4 月 1 日～至平成 29 年 3 月 31 日)

1 平成 28 年度年間数値目標

1. 実施校数 年間 315 校 (NET 数)
2. 講義時間数 年間 2,150 時間

年度別実績推移

実施校数及び講義時間数とも今年度の目標数値を達成しました。(資料①)

	26 年度 実績	27 年度 実績	28 年度 目標	28 年度 実績	差異 +△
実施校数(NET)	300	311	315	322	+7
講義時間数(時間)	2,011	2,246	2,150	2,418	+268
講師料(千円)	19,701	21,792	23,650	23,338	△312

活動の推移

今年度も実施校増加対策として講義の実施が少ない上期(4~9月)へ移行させるために、申込み時に誘導して下期(10月~翌年3月)の集中を防ぐよう努めました。(資料②)(資料③④)

	26 年度 実績	27 年度 実績	28 年度 実績
実施校数(総数)	320	326	341
4月~9月実施校数	80	93	100
10月~3月実施校数	240	233	241

申込受付は年々早く、平成 28 年度「申込学校数」は 10 月で年度内の受付をほぼ終了しました。(資料②)

	26 年度 実績	27 年度 実績	28 年度 実績
申込受付校数(総数)	320	326	341
1月~6月受付校数	217	236	274
7月~10月受付校数	80	81	67

2 講師募集と実施校の推移

① 第 29 期生講師募集の改善

- 1 募集期間の早期・長期化（9月20日～11月14日）
昨年よりも1週間早くスタートし、秋の新学期が始まる時期に合わせて募集期間を長くいたしました。
- 2 ホームページ（HP）・フェイスブック（FB）の活用
HP から応募用紙をダウンロード出来るようにし、また FB を定期的に更新し留学生の目に留まるように PR 効果の促進を図りました。
- 3 受付の一元化
応募の受付は従来の郵便送付、FAX 送付を止めて、メールのみでの受付に変更いたしましたので、データ管理が容易になりました。
- 4 留学生講師の協力
新人講師の募集に際し、SNS やメールなどを活用して積極的に協力してもらえるようデジタル版募集要項も作成し、募集時期の前に開催した「募集協力説明会」（9月18日）にて協力を要請し、またメールに添付し講師全員に依頼しました。結果、応募のアンケートで多くの講師の協力が得られた事が判明しました。
- 5 募集協力大学への対応
 - ① 昨年度同様 6 大学(東京大学・一橋大学・筑波大学・早稲田大学・東京工業大学・東京外国語大学)に寄付を各校年間 5 万円行いました。(寄付金額年間合計 30 万円)
 - ② ポスターを 2 種類(A-2 判・A-3 判)作成し、出来るだけ掲示がしやすいようにして、応募用紙を廃止し募集要項のみ配布を依頼しました。募集協力大学も 7 校増やし、学内のサイトやメーリングリスト等を可能な限り使用して告知を積極的に行って頂きました。

6 募集結果

	平成 26 年度 (第 27 期生)	平成 27 年度 (第 28 期生)	平成 28 年度 (第 29 期生)
応募総数(名)	121	176	172
国・地域	29	40	41

第 29 期生採用数 49 名

② 学校申込みの動向

学級数の多い高等学校からの申込みの増加傾向ならびに複数学年同日実施校の増加傾向は今年も変わらず、さらに2コマ以上実施した学校が増加したことが講義時間数増加の要因となりました。

(学校数 NET)

	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績
小学校	62 校(21%)	58 校(19%)	54 校(17%)
中学校	173 校(58%)	185 校(59%)	196 校(61%)
高等学校	56 校(18%)	59 校(19%)	61 校(19%)
中高一貫	5 校(2%)	4 校(1%)	5 校(1%)
その他	4 団体(1%)	5 団体(2%)	6 団体(2%)
合計	300 校(100%)	311 校(100%)	322 校(100%)



■ 1コマ実施 ■ 2コマ実施 ■ 3コマ実施

3 平成 28 年度学校からの講義の満足度評価

(別紙資料⑤)

4 事務局の対応力の向上

① ネット利用による事務の効率化

留学生講師との通常連絡業務

1. 2か月前・・・毎月の出講可能スケジュールをメールで把握
2. 2か月前・・・出講先・出講日の依頼メール
3. 2週間前・・・「出講依頼書」メール添付
4. 講義料の支払い(銀行振込・1週間以内)

学校との通常連絡業務

1. 2か月前まで・・・協会ホームページからの講義申込み受付
2. 2か月前まで・・・講義実施日決定及び実施日確認メール
3. 1か月前・・・講師決定通知(講師プロフィール・書類一式)メール
4. 2週間前・・・「講義確認書」にて最終確認送付

学校からの講義申込みはホームページからを基本にシステムの改善を行いましたが、従来通り FAX での申込み及び書類送付を希望する学校もあり、臨機応変に対応しております。

② アドバイザリースタッフによる学校現場での指導力の増加

今年度も宮地専務理事・富山常務理事・堀内シニアアドバイザーに、元英語活動のアドバイザー宇津木先生が外部スタッフとして加わり、4名体制で実施校を担当し、留学生講師の現場指導の他に、学校長や担当者へのプログラム導入の説明を行っております。その努力が実り新規校の増加、継続校の次年度への継続実施に結びついてきています。

なお、今期、「英語活動」教育プログラムの実施はありませんでした。

以上